

広報 ただみ

2
2022 月号
No. 621
令和4年2月10日



今月の表紙

【只見高校野球部21世紀枠で甲子園出場】

第94回選抜高校野球大会の選考委員会が1月28日に行われ、21世紀枠に只見高校野球部が見事に選出されました。

昨年の秋の県大会でベスト8に輝いたことに加え、豪雪地帯のハンディキャップをものともせず、ひたむきに練習を続ける姿が認められ選出されました。

《特集》

坂田地区鳥獣被害実施班

立ち上げのキッカケと成果 …… 2～3

各種表彰 …… 4～5

《News&flash》 …… 6

《町の話題》 …… 7～10





坂田地区鳥獣班

Sakata Beast Busters

立ち上げのキッカケと成果

近年、鳥獣による農作物への被害が増加しています。作物が倒されたり、食べられたりしてしまう他に、畦畔が掘られてしまうなど、被害が多岐に渡り農耕者を悩ませています。

今回は集落ぐるみでワナの免許取得をされ、「環境整備」「電気柵設置」「捕獲」に取り組んでいる坂田地区の皆さんの取り組みをご紹介します。

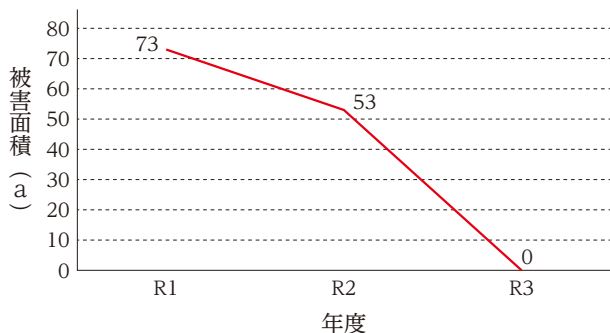


集落で取り組みはじめたキッカケ (前区長：飯塚勇さん)

2019年に打杭地内で大きなイノシシ被害を受けました。田んぼ内でイノシシがのたうちまわったため、まるっきり出荷ができなくなってしまいました。過去に出没したことは何度ありましたが、ここまで大きな被害が出たのは初めてでした。

個人個人で対策しても他の人の所に出るようになってしまうので、これは集落ぐるみで計画的に対策しないといけないと始めました。他にも坂田集落は日中に動ける人がいたということも取り組むにあたり恵まれていたと思いました。

イノシシによる水稲被害面積の変化
(対策実施年から)



▲イノシシによる被害



▲捕獲したイノシシ



▲電気柵と注意書きの看板

【捕獲】

- 坂田集落で7人が「わな免許」取得（2020年）
- 只見町有害狩猟鳥獣等捕獲隊に2名入隊
- 捕獲実績 ●2020年 イノシシ 1頭
- 2021年 イノシシ 1頭 シカ 3頭

【環境整備】

- 草刈り
- 個人の所有地は個人で草刈りを実施
- 個人対象にならない土地は、中山間加入者が年2回（6月、8月）に草刈りを実施（中山間加入者は36人）

【電気柵設置】

- 2020年 3ヶ所設置 総距離：900m
- 2021年 新たに4ヶ所設置 総距離：1,385m
(合計7ヶ所 総距離：2,285m)
- 設置：回覧板で電気柵を設置したい人を募り、設置・撤去の際は集落の人で協力（約5人づつ）
- 見回り・草刈り：田の所有者が実施。草刈りは1週間に1度程度
- 電圧チェック：田の所有者が確認。1週間に1回程度
- 出役費等：中山間直接支払制度で支出

免許取得で大変だったことは

ワナの免許取得のために勉強をすることが大変でした。まったく知識がない所からのスタートだったこともありましたが、法律なども絡んでいるため覚えることは沢山ありました。そのため、免許取得するメンバーで、講習会などに参加したりもしました。

一番効果があがった対策は

電気柵が一番効果的だったと思います。これも研究しながら使っています。最初3段張っていたのですが、2段にしても効果があがったので、次からは2段にしました。慣れてからは、電圧の維持や設置撤去が楽になりました。捕獲も実績が出ているので、続けていきたいと思っています。

モチベーションとなったことは

（班員） 当時の区長が本気で対策に取り組んでくれたことです。そこに本気で対策を考えるメンバーが集まり進めることができたのが、良かったのだと思います。
（前区長） 何かやらないと田畑を続けていけなくなってしまうと思いましたので、実際に鳥獣を獲った人に話を聞いたり研究をしました。
（班員） そういうリーダーの行動力があってから、皆も行動しようと思いました。
 集落の皆からも「あそこに獣道がある」といった情報を提供いただけるようになりました。坂田集落全体での関心が高まってきていて、それもモチベーションになっています。



有害鳥獣被害対策補助金のご案内

〈補助事業一覧〉

補助対象事業	【個人】 補助率・上限	
電気柵	設置、材料購入経費の2/3以内 (上限10万円)	【区・生産組合】 被害防除対策費用全額 (上限70万円)
防護ネット	設置、材料購入経費の1/2以内 (上限5万円)	
緩衝帯整備 ※10a 当り 2万円以内	刈り払い等に係る経費の1/2以内 (上限5万円)	
爆音機他、鳥獣対策に有効と認められるもの ※機器の場合、購入額又は合計が3万円以上	設置、材料購入経費の1/2以内 (上限5万円)	【捕獲隊】 鳥獣捕獲に係る対策費用全額 (上限70万円)

来年度も有害鳥獣被害対策補助金をご活用いただけます。
 詳細は農林建設課農林係（TEL：82-5230）へご連絡ください。

第32回 青少年健全育成標語入賞者表彰

中学生の部

優秀賞

「大丈夫 きみのそばには いい仲間」

朝日小6年 岩佐 滯乃

佳作

「花ひらく 笑顔のつぼみ あいさつで」

只見小6年 大竹 杏奈

「只見線 人と未来を 乗せていく」

明和小5年 角田 杏

「スマホより 君の笑顔が あたたかい」

明和小6年 梁取 暖

優秀賞

「『ありがとう』 伝え、広がる 笑顔の輪」

只見中1年 長谷部 優歌

佳作

「自然首都 SDGsの 只見町」

只見中2年 渡部 琉生

「コロナ禍で 目から伝わる 感謝の気持ち」

只見中3年 梁取 ななこ

「地球の未来 僕らが変える この町で」

只見中3年 舟木 悠真

小学生の部

一般の部

優秀賞

「忘れてない？ 親との約束 スマホ時間」

只見高校1年 栗城 深人

佳作

「大丈夫？ 一人ぼっちを見逃すな」

只見高校1年 梁取 もも

「スマホより 顔見て話そう 友達と」

只見高校1年 印南 蒼羽

「再認識『いじめ』と『いじり』の境界線」

只見高校3年 一条 洸輔

優秀賞

「いつの世も 良い子に育つは 家庭から」

只見 目黒 永子

佳作

「地域の輪 無事故でつなぐ 見守り隊」

明和小教員 須藤 勝俊

「ノーマディア 今日家族で 団らんだ」

朝日小教員 森 大二郎

「『密』避けて 寄り添う気持ちは そのままで」

大倉 齋藤由美子

高校生の部

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、只見町青少年健全育成主張大会及び各表彰式は中止といたしました。今号では、受賞者と作品の紹介をいたします。主張大会の原稿につきましては、後日広報紙等で紹介します。

令和3年度

芸術文化賞

スポーツ優秀選手賞表彰

芸術文化賞

▽菅家 凜々（只見小6年）

第22回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール

／海上保安協会福島県支部

長賞 三瓶 智大（朝日小6年）

令和3年度ふくしまっ子ご

はんコンテスト／優良賞

▽星 柚子葉（明和小6年）

第35回福島県小学校児童画展／金賞

▽渡部 茉莉（只見高校2年）

いつしよに考える「福島、その先の環境へ。」チャレン

ジニアワード／福島県知事賞

▽福島県立只見高等学校

第14回高橋松之助記念朝の

読書大賞／優秀校

▽福島県立只見高等学校

令和3年度子供の読書活動

優秀実践校・図書館・団体

（個人）の文部科学大臣表彰

／文部科学大臣表彰

区推薦校

スポーツ優秀選手賞

▽五十嵐千紘（只見小5年）

第29回福島県小学生剣道選手権大会 剣道小学5年男子／第3位

▽目黒 夏穂（只見中1年）

第37回福島県中学校選抜剣道大会 剣道女子個人／第3位

▽吉津 知巴（只見中2年）

第69回全会津中学校体育大会 剣道競技 剣道女子個人／第1位

▽目黒 咲翔（只見中3年）

第41回ジュニアアルペンスキー東北決勝大会 大回転

／第5位

▽鈴木 来菜（南会津高校2年）

第66回福島県高等学校スキー大会 女子大回転／第3位

▽福島県立只見高等学校野球部

第94回選抜高等学校野球大会21世紀枠推薦校／東北地

区推薦校

第45回

只見町民

文芸コンクール表彰

作文部門

◎小学生下学年の部

▽佳作 山内 太郎（明和小2年）

星 瑛陽（明和小2年）

◎小学生上学年の部

▽入選 渡部あさひ（朝日小4年）

▽佳作 大竹 杏奈（只見小6年）

齋藤 珀（只見小5年）

短歌部門

◎小学生上学年の部

▽特選 齋藤 仁（朝日小4年）

▽入選 佐藤 翔（朝日小6年）

渡部あさひ（朝日小4年）

▽佳作 梁取 蘭（明和小6年）

梁取 暖（明和小6年）

三瓶 叶翔（只見小6年）

加藤 彰（只見小5年）

詩部門

◎小学生下学年の部

▽入選 酒井 詩文（明和小2年）

吉津ひなた（朝日小1年）

◎小学生上学年の部

▽入選 鈴木 雛乃（只見小6年）

新國 璃空（只見小4年）

矢沢 茜音（只見小4年）

俳句部門

◎小学生下学年の部

▽特選 増田 琉気（只見小3年）

▽佳作 五十嵐星渚（朝日小3年）

渡部 快人（朝日小3年）

◎小学生上学年の部

▽特選 齋藤ひまり（只見小4年）

▽入選 岩佐 滂乃（朝日小6年）

矢沢 悠希（明和小6年）

▽佳作 山内 珠樹（明和小5年）

◎中学生の部

▽特選 渡部 柊（只見中2年）

▽佳作 新國 蒼空（只見中3年）

佐藤 優妃（只見中2年）

◎高校生の部

▽入選 五十嵐陽菜（只見高校1年）

▽佳作 羽染 宗都（只見高校3年）

◎一般の部

▽特選 鈴木 澄子（只見）

▽佳作 本名 ムツ（黒谷）

※該当のなかった部門及び賞については記載しておりません。

新年を祝う

令和4年「只見町新年交歓会」開催

令和4年「只見町新年交歓会」を1月5日に季の郷湯ら里で開催し、新年を祝いました。

交歓会では、渡部町長、大塚町議会議長の年頭のあいさつの後、金子南会津地方振興局長や小熊衆議院議員、菅家衆議院議員から祝辞が述べられました。

その後、会津工場株式会社の鈴木直記社長が、「会津から世界を目指して」の演題で特別講演を行いました。特別講演は町内外で活躍する方に講演をしていただくというもので、今年から始まりました。なお、来年以降も実施する予定です。



▲鈴木社長は「事業拡大のために『勝手に試作』を武器に営業に力を入れた」と講演しました

年始めの安全祈願

「只見町消防団出初め式」

今年1年間の無火災祈願などを行う「只見町消防団出初め式」が、1月8日に朝日振興センターで開催されました。

式の初めに、町の無火災・無災害の祈願や危険を伴う現場で活動する消防団員などの安全祈願が行われました。その後、渡部町長の訓示に続き、目黒消防団長が「大きな火災、災害がないのは皆さんの日頃の行動の賜物です。消防団の務めを引き続き果たしてください。消防署、警察署、町の皆さんにも引き続き協力をお願いします」と訓示を述べました。



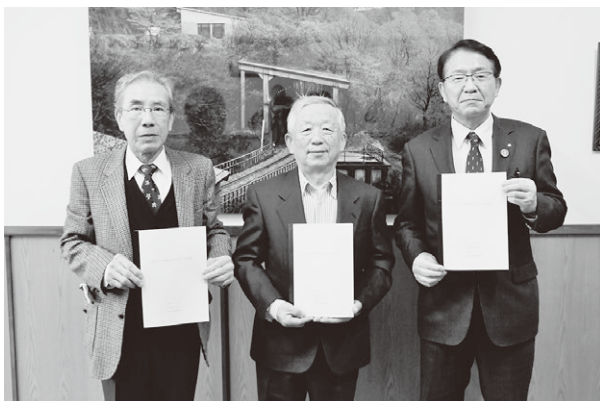
▲訓示を述べた目黒邦友消防団長

町民の生活を見守る

「ほほえみ協定」締結式開催

只見町と町内で移動販売事業を行う有限会社うおかくと株式会社ブイツー、只見町社会福祉協議会（以下社協）の4者による「ほほえみ協定」を、1月12日に締結しました。

この「ほほえみ協定」は、高齢者等への支援を適切に行い安全確保することを目的に、移動販売区域に居住する高齢者等に異変が見られたり支援が必要となったりした際に、社協や町に情報提供を行うことなどが定められています。



▲三瓶さん（ブイツー）は「見守りは、万が一が起きた際に命が救える活動」と話しました

健康寿命を延ばす

「健康増進に関する連携協定」締結式開催

只見町と明治安田生命保険相互会社は、1月20日に「健康増進に関する連携協定」を締結しました。

今回の連携協定は、「健康づくりに関すること」、「がん対策に関すること」、「感染症対策に関すること」などの健康増進に関する取り組みを推進するにあたり、相互に連携・協力し、町民の健康増進などの向上を図るためのものです。

締結にあたり渡部町長は「健康寿命を保つためにも健康増進に取り組んでいきたい」と話しました。



▲協定書に署名をした大杉郡山支社長と渡部町長

地球の未来を考える

ケンタロ・オノ氏講演会「地球温暖化とキリバス」開催

ケンタロ・オノ氏を講師にした講演会「地球温暖化とキリバス」が、12月20日（ただみコミュニティクラブ）、21日（只見中PTA講演会）で開催しました。

講演会では、昨今の異常気象の話や地球温暖化の影響により海に沈んでしまう国があるということ話し、SDGsに対する取り組みの重要性を講演されました。

今回の講演は、ケンタロ・オノ氏の「沈んでしまう国があることを知ってもらいたい。地球の未来のため出来ることを知ってもらいたい」という思いから、無料配信されており、以下のURLから4月末までご視聴が可能です。ぜひご覧ください。

視聴用URL：<https://youtu.be/BFeewBDWJFo>



▲環境問題取り組むことの重要性を講演したケンタロ・オノ氏

迫力のはく製展示

ブナセンター企画展「只見の猛禽類」開催中



▲イヌワシの貴重なはく製が見られます。ぜひご覧ください

ブナセンター企画展「只見の猛禽類」が、12月4日からただみ・ブナと川のミュージアムで開催中です。只見町で確認されている14種のワシタカ類についての生態や自然環境との関わりを紹介しています。また、クマタカやそれらの餌となる小動物なども展示されていて、食物連鎖の関係性も学ぶことができます。

今回は、福島県立博物館所蔵のイヌワシのはく製も展示され、初日から多くの方が足を運びました。

イヌワシのはく製は、4月4日の公開終了まで展示され続ける予定です。ぜひこの機会に「ただみ・ブナと川のミュージアム」にお越しください。

只見中学校の取組みに感謝状

「人権作文コンテスト感謝状」伝達

只見中学校が、「第40回全国中学生人権作文コンテスト感謝状」の表彰を受け、12月22日に只見町人権擁護委員の角田さんから感謝状が伝達されました。

只見中学校は、3年生全員が人権作文コンテストに出品しており、多数出品したことや中学生の人権問題への意識の高揚につながったことから感謝状が贈られました。

角田さんは、「この表彰は、1、2回の取り組みが評価されただけでなく、積み重ねてやってきたことが評価されたものだと思う。これからも続けてほしい」と話されました。



▲表彰状を受け取った増田さんと松永さん

只見町の未来のために

朝日小学校「6学年児童発表会」開催

朝日小学校6年生が、総合的な学習の時間で学んだ成果を12月22日に役場町下庁舎で発表しました。

発表は、積雪量などのデータを用いながら、気候変動が生態系の変化や農産物への悪影響をもたらすことを解説し、それらを食い止めるために節水などの「ワンステップアクション」に取り組んでほしいことなどを訴えました。

また行政への提案として、「今回学んだ内容を多くの人と共有できる場をつくること」、「公用車や公共交通機関をエコカーにしてほしい」と話しました。



▲川の水温上昇の大変さをシャワーの温度を例に解説するなど、分かりやすく丁寧に解説しました

一筆一筆を大切に

明和振興センター「書初め教室」開催



▲児童たちは1枚1枚丁寧に書きました

明和小学校児童を対象とした「書初め教室」が、12月27日に明和振興センターで開かれました。目黒仁也さん、ふみ江さん夫妻が講師を務められ、「福島県書きぞめ展」の課題である「とら年」、「美しい光」などを練習しました。

仁也さんは「タブレットやスマートフォンが普及し、字を書く機会が減ってきています。これからデジタル化がさらに進む中でも、字をしっかりと書けるようになってほしいです。習字は、集中力が高まり礼儀作法も身に付くので、姿勢を意識して書いてください」と伝えました。

ウィンタースポーツ本番

町内3小学校「スキー教室・記録会」開催

町内各小学校で、保護者の方々の協力でスキー教室・記録会が行われました。

スキー教室初日の練習ではやっとターンをしていた児童も、保護者の指導の下で練習をするうちにスムーズにターンを決めることができるようになり、コースを滑ることができるようになりました。

また記録会では、教えてもらったことを発揮して自己記録に挑み、成長した姿が見られました。笑顔でゴールする児童も見られ、楽しいスキー教室・記録会になりました。



▲本番前に試走をする児童（只見小）

学生たちが只見町の魅力を発信

「只見の『魅力』発見オンラインツアー」開催

「只見の『魅力』発見オンラインツアー」が12月23日に喜多方市塩川公民館で開催され、合同会社ねっかや季の郷湯ら里と中継を繋ぎながら只見町の食や芸能の紹介が行われました。

このツアーは、県立テクノアカデミー会津観光プロデュース学科2年生が企画・運営し、司会やレポーターも学生が行いました。

中継先では、只見の雪景色と共にねっかの蒸留所の紹介や打ち豆、マトンの紹介が行われました。最後には只見つくし会の皆さんによる只見音頭が披露されました。

また会場の塩川公民館にはマトンケバブが届けられ、参加者は味覚と視覚の両方で只見町を楽しみました。



▲記念撮影を行い、大盛況のうちに幕を閉じました

新しい年を楽しむ

只見スキー場「お正月歓迎イベント」開催



▲膝上くらいの雪をかき分けて進む子どもたち

会津ただみ振興公社が主催する「お正月歓迎イベント」が、1月1日に只見スキー場で開かれました。

イベントでは、長谷部支配人から新年のあいさつの後、雪中宝ひろいが行われ、参加者は雪をかき分けながら宝を探しました。その後、ロッジ内でおしるこが振舞われ、宝ひろいで冷えた身体を温めました。

参加した子どもたちは「雪がたくさんあって宝がなかなか見つからなかったけど、楽しかったです」と話しました。

冬の只見町の暮らしを楽しむ

3振興センターで冬期講座開催

冬期間でも体を動かしたり手仕事を楽しんだりすることを目的とした冬期講座が、各地区振興センターで開催されました。フラワーアレンジメントやエクササイズ、つる細工などの講座が開催された他、初めての本に関する講座「やっぱり本が好き」では、菅家成美さんを講師に本の紹介や朗読が行われました。

つる細工の参加者は「昔はつるを編んだり藁をよったりして、冬の生活としていた。できる人が少なくなりましたが、講座などで人が集まれるうちは続けていきたい」と話されました。



▲只見振興センター「つる細工講座」



▲朝日振興センター
「ストレッチ&エクササイズ」



▲明和振興センター「やっぱり本が好き」

長年の功績が称えられました

本名誠さんが瑞宝単光章を受章

元只見町消防団副団長の本名誠さん（黒谷）が消防功労による瑞宝単光章を受章され、1月13日に伝達式が行われました。

本名さんは、昭和53年から40年間消防団に所属し、平成18年から退団されるまでの12年間は副団長を務められました。

今回の受章について渡部町長は「災害発生時には、長年の経験を生かした的確な指示で、被害を最小限に食い止めていただいた。それらの活動を支えてきたご家族の皆様にもあわせて感謝します」とお祝いの言葉を贈りました。



▲受章された本名誠さん（中央）

只見中 中学生記者が書く SDGs コラム

第1回

SDGsってなんだろう？

文：堀金 康太（3年生）



SDGsとは国際連合が2015年に制定した持続可能な開発目標のことであり、世界中の誰もが取り残されずに幸せに暮らすための具体的な目標を決めたものです。子どもから大人までわかりやすくするために、17のカラフルなアイコンで表されています。

具体的には『#1 貧困をなくそう』『#8 産業と技術革新の基盤を作ろう』など一つの分野に限らず、世界全体の幸せを2030年までに達成しようというものです。国や地域を越えて助け合う気持ちを持って取り組むことを目標としています。

只見中学校では特に『#14 海の豊かさを守ろう』というゴールを目指し海辺の清掃をしました。その時に多かったゴミがプラスチックの容器やボトル、レジ袋でした。

このことから、新聞紙でレジ袋を作って只見町内の商店や薬局で置いてもらっています。このゴールが設定されている2030年まで残り8年となりました。只見でも東京でも関係なく、地球上の皆さんが17のゴールを目指し取り組むことで、より良い世界になることを願っています。

皆さんも身近なところから始めてみませんか？



只見のオリジナル郷土料理をつくりました！

只見小学校の5, 6年生で行われた海洋教育授業に只見町食生活改善推進員の、馬場さき子さん(叶津)、五十嵐理子さん(新町)、河原田宏子さん(宮前)、田中ケイ子さん(蒲生)と町栄養技師がゲストティーチャーとして参加しました。子供たちは事前に只見の郷土料理について学び、その中に使われている食材が只見の山菜や野菜だけでなく、海の魚や昆布が使われることで料理が豊かな味わいになることを学習し、料理をとおして只見町と海とのつながりについて学びました。

また授業では只見町の食材だけではなく、海や他の地域の食材を取り入れオリジナルの郷土料理を考えました。何度も検討を重ね、未来に受け継ぐことができるような料理を完成させましたので、写真で紹介します。

和風山菜チャーハン



ぜんまいやワラビ、舞茸と昆布や削り節などを使ったチャーハン

山菜ツナマヨピザ



米粉を使った生地にトマトやツナをトッピングしたピザ

山菜と昆布の和え物



昆布とワラビをだし汁とごま油、しょう油などで味をつけた和え物

鮭と山菜の炊き込みご飯



鮭とワラビやフキ、ぜんまいなどを使った炊き込みご飯

グリーンゼリー



フキ、ワラビ、こごみにりんごやみかんをあわせて作ったゼリー

はじめは只見の食材のみを使ったレシピを考えましたが、海のものや他の食材を検討してよりおいしい料理を作ることができました。

調理方法によっては、イワナの臭みが残るため鮭に変えたり、ツナを加えることで味わいが深くなることを発見しました。只見町の食材と他の地域の食材があわさって、より一層おいしい郷土料理となりました。



広報ただみ診療所

転ぶと人生損します

朝日診療所 医師 **もり 森** **ふゆ と 冬人**



新聞の連載を見ていただいた町民の皆様、ありがとうございます。もっと読みたいとお声も頂きますが、結構大変でしたのでもう遠慮しておきます。少しでも宣伝になって、只見町や診療所に興味を持つ医師・看護師・学生さんが増えたら良いと思って書きました。さて、今年も雪が多いです。滑って転んでケガをする方も多いため、今回は転倒予防のお話です。

高齢者が転倒すると10回に1回は大けがをされると言われています。頭の出血や、大腿骨・骨盤の骨折を起こして要介護状態になってしまう方もいます。私としても、転倒して痛い思いをする患者さんは一人でも少ないことを願っています。なんでも予防が重要です。新型コロナのような感染症でもマスク・手洗い・換気・予防接種が大切です。転倒でも予防が大切です。

転倒しないために大事な事がいくつかあります。1つは自宅を良い環境にする事です。床に散らかった物、電化製品のコードに引っかかって転ぶ人がいます。私も床に脱ぎ捨てた服に引っかかり転んだことがありました。整理整頓、床をキレイに掃除するときと良いと思います。足腰が悪い人の場合は、お風呂場・トイレ・長く過ごす部屋に手すりを付けるのも良いです。もし相談があれば介護保険の担当者などへ連絡しましょう。

その他、眼が見えにくい方には白内障の手術もオススメです。白内障がひどい人は手術をすると眼がよく見えるようになり、転ぶことが減るそうです。

最後に運動です。もちろん大雪・吹雪のときは無理に散歩しないで自宅・室内にいきましょう。室内でも体を動かすことはできます。ラジオ体操のような簡単なものでよいです。

新型コロナが再び流行すると出かけられない時期が長くなるかもしれません。部屋を整理整頓して、元気に体を動かして、転んで骨折しないように注意して春を待ちましょう。

地域おこし協力隊として Vol.86

只見町教育振興協力隊 **おち 越智 めぐみ**



雪の深い季節となってきました。冬といえば教育業界にとっても高校入試や大学入試を控えた大切な時期となってきます。受験生の皆さんは、今までに感じたことのない大きな不安を抱えながらも、必死に追い込みにかかっているのではないのでしょうか。特に今年、只見高校の定員が削減されたことから、生徒の皆さん以上に入試に対して懸念されている保護者の方もいらっしゃるのではないかと思います。つつい他のお子様と比べて不安になったり、見守ることしかできないもどかしさを感じてしまいますよね。

私は現在、只見高校生に向けた心志塾の講師をしていますが、以前、広島県や兵庫県の塾で中学生たちに受験指導をしてきました。そこでこの場をお借りして、中学生の保護者の皆様の気持ちを軽くするお手伝いをできればと思います。

まず、日中は学校に行っていることから、家庭学習の時間は夜に偏りやすく、生活リズムが崩れやすくなっています。お子様と一緒に話をしながら家庭学習の時間配分を見直し、食事や就寝・起床時間などを調整しましょう。

また、「家であまり勉強している様子を見ない」、「あまりはかどっていないようだ」、「あまり手が動いているように感じられない」、「部屋に引きこもって、勉強しているかどうか分からない」などの状態になっているという話もよく聞きます。その場合、お子様が「家でどう勉強したらいいか分からない」という状況になっている可能性があります。勉強をしたい、しないといけないのは分かっているのに、「分からない問題が多い、どう勉強をしたらいいのかわからない」という気持ちだけが焦っている状態ですね。親御さんもお子様も、双方が非常に苦しく、辛い状態です。この場合に必要なのは、叱咤激励をするよりもまず傾聴。「いまどんな状態か」「どんな気持ちか」「どんなことに行き詰っているのか」をじっくりと聞いてあげてください。その上で何が必要なかを冷静に話し合ってみましょう。

「学校の先生のアドバイスを仰ぐ」、「オンライン家庭教師を頼む」、「勉強の得意な知人にサポートを頼む」など、どんな手助けが必要なのかが見えてくるのではないかと思います。

最後に、この時期に「自分には何もしてやれない」と思い悩む保護者の方を多く目にしてきました。しかし、子どもたちは大人が思っている以上に大人から多くのものを受け取っていると自覚しています。どんなにお父さん・お母さんのあたたかいご飯がおいしいか、ちょっとした一言が嬉しかったかを表情豊かに話してくれます。普段通りで構いませんので、どうか温かく見守ってあげてください。そして受験当日の朝、今までの思い出や応援の気持ちを込めた手紙などがあると、お子様は身近で見守ってくれている心強さを肌で感じ、何よりも一番のお守りになります。

受験生の皆さんと保護者の皆様がこの厳しい冬を乗り越え、期待と希望に満ちた明るい春を迎えられることを心よりお祈りし、応援しております。

只見ユネスコエコパーク Q&A(3)

Q

只見ユネスコエコパークの自慢は何ですか？

A

「只見ユネスコエコパーク」が登録されてから「どんなことが自慢できるの？」と質問をいただくことが多くあります。只見町には冬の豪雪があり、この豪雪が作り出した険しい山岳地形（雪食地形）があり、ブナ林をはじめとした多様な森林が広がっています。そこには多くの野生動植物が生育・生息しており、中には生態系の豊かさを象徴する貴重な生物や全国的に絶滅が危惧されているような希少な生物も多く含まれています。そして、こうした自然環境や野生動植物から得られる自然の恵みを絶やすことなく上手に利用し、自然と共に生きてきた住民の生活や文化が存在します。これらは世界で今必要とされている“人と自然とが調和ある形で共存しているモデル”であり、只見ユネスコエコパークの価値と魅力です。只見町に暮らす私たちには日々当たり前のことが多いかと思いますが、実はこうしたことがユネスコから高く評価されています。ぜひ身近な自然と共生した日々の暮らしのどんなことでも自慢していただければと思います。

見慣れた自然とそれらと共生する普段の暮らしが 只見ユネスコエコパークの自慢です！

自然環境×野生動植物×環境に配慮した人間活動＝只見ユネスコエコパーク

自然環境



国内有数の豪雪が豊かな自然や独自の生活文化を育む



集落背後の山々の雪食地形やモザイク植生は世界的にも珍しい景観

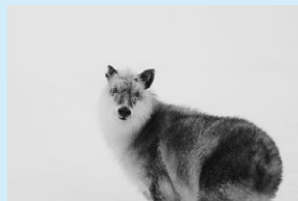


只見のシンボル、ブナ林。奥山は保全され、人里ではエコツアーや教育などで活用

野生動植物



カタクリなどの希少な春植物が身近に見られる



国の特別天然記念物のニホンカモシカもたびたび人里まで現れる



絶滅危惧種に選定されているトノサマガエル。環境に配慮された稲作のおかげで健在

自然の恵みを活かした住民の生活文化



マタタビなどの植物（天然素材）を利用した編み組細工は只見の伝統文化



おじいさん・おばさんが一生懸命な庭先農業は地域の自給自足に貢献



ダイコンニューなどの冬の寒さを活かした食材の伝統的な保存方法



町民文芸

只見短歌会 令和四年一月詠草

我が部屋をそつとのぞきて帰る友後姿の暖かかりし
馬場 八智

遠き日を思ひ起こせば病む母の床擦れ痛む背中せなをさすりし
目黒 富子

通院と家事細々と月日過ぐ年賀思ひつ早暮れ迎ふ
関谷登美子

息子の友の出したる本を読みをれば引き込まれをり忽ちに読む
新国由紀子

吹雪く中除雪しながら国道を作業する人らのみな白くして
渡部ヨリ子

わが家の近くにありし火の見櫓いま片されて幼等遊ぶ
新国 洋子

(出詠順)



只見俳句会 一月定例会

日高俊平太 指導

冬の日のしみじみ仰ぐ空に蓋
消雪のパイプはじけて冬どるる
味代子

添え書きに今年限りと賀状受く
またひとつ未知の災い虎落笛
弘子

持ちよりの料理あれこれ年忘
着ぶくれてカメラ構える只見線
一恵

コーヒーを飲みながら見る雪の峰
除雪車は今日二回来て夫は囲碁
真理子

初雪や夕げのしたく湯気浴びて
空っ風に飛ばされそなた通学児
睦子

われにも煩惱百八の鐘待ちにけり
現世の遠ざかりゆく焚火かな
紺青

初雪や百名山の飯豊山
クリスマス孫に見せたき部屋飾り
妙子

初読みやカタカナ文字を齧りつつ
主のなき賀状の主の癖字かな
恒夫

冬うらら染め上りたる木の葉染め
標も用意の一つ軒に吊る
礼

久しくに村に男の子や寒の飴
屋根の雪見上げているよ寒九雨
一穂

寒木や全てを晒す覚悟あり
日めくりの薄さにさらに一めぐり
修一

冬帝に真っ向挑む米寿かな
くらししの角研ぐ刻か冬三日月
幸生

箱根路に母校の校歌冬の朝
在りし日の友の笑顔や年の暮れ
信

指先を広げて桶にニシン漬け
冬休み子等集う日の昼支度
都

今月のお知らせ

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係 広報広聴係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

お知らせ

土地の境界問題の解決支援について

福島地方法務局と土地家屋調査士会では、連携して境界問題の解決を支援します。

○筆界特定制度

法務局の職員が専門家の意見を踏まえて、申請者等の意見を拘束されず、真実の筆界を特定します。
※明け渡しなど、所有権に関する問題を直接解決することはできません。

○土地家屋調査士会ADR制度

土地家屋調査士及び弁護士が相談・調停を行い、柔軟に問題解決のお手伝いをします。

※相手方の応諾がないと手続きを進めることができません。
詳細は、法務省のホームページ (<https://www.mof.go.jp/MINJI/minji104.html>) 又は福島県父家屋調査士会 (<http://fksimaty.or.jp/>) をご覧いただくか左記までお問い合わせください。

○問合せ先

・筆界特定制度
福島地方法務局不動産登記部門 地図整備・筆界特定室

☎024-534-2048

・土地家屋調査士会ADR制度

境界紛争解決支援センター
1ふくしま
☎024-535-3937

県政相談のお知らせ

県では、県政に関する相談や要望、又は県民生活に関する相談をお受けします。相談は無料で秘密は厳守します。

【相談場所】

福島県庁県政相談コーナー及び県の各合同庁舎内県政相談コーナー南会津合同庁舎における面接相談は、毎週水曜日に完全予約制で行います。予約は、火曜日正午までです。予約がない場合、面談は実施しません

のでご了承ください。(予約先・会津地方振興局県政相談コーナー ☎0120-899-1724)

【相談時間】

9時～12時、13時～16時
(土日祝日を除く)

【県政相談専用電話等】

南会津地方の電話相談は県庁又は会津地方振興局で受け付けます。

・県庁県政相談コーナー
☎0120-899-1721

または
☎024-521-7017

E-mail: kenseisoudan@pref.fukushima.lg.jp

・会津地方振興局県政相談コーナー
☎0120-899-1724

税 今月の納期

2月25日までに納めましょう

- 水道使用料(4期)
- 農集排使用料(2月分)

ブナりん健康ポイント

100ポイント到達おめでとうございます!



栗城勝子さん (只見)

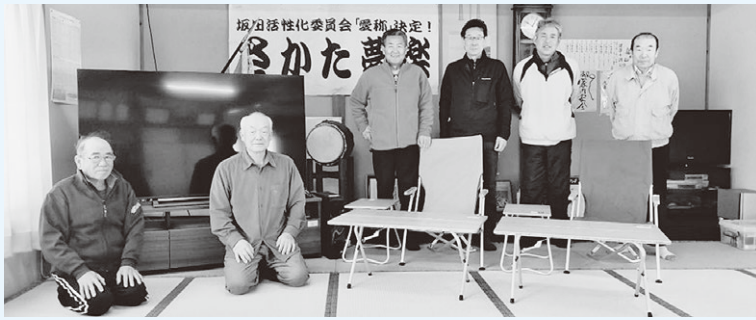
栗城勝子さんが、「ブナりん健康ポイント制度」で、100ポイントを達成しました。(制度詳細については、広報ただみ12月号をごらんください)

これからもサロンや健康講座に参加して、健康づくりを頑張ってくださいね。

坂田地区 集落活性化のために 備品整備を行いました

坂田地区は、(一財)自治総合センターが実施する「コミュニティ助成事業」の助成を受けて、イスや机、モニター等を整備しました。今後、コミュニティ活動などで活用していく予定です。

※コミュニティ助成事業とは、(一財)自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備等に対して助成を行い、地域社会の発展と住民福祉の向上に寄与するために進めている事業です。例年秋に募集をしています。



町長から

只見町長 渡部 勇夫

◆ コロナウイルスのオミクロン株による感染急拡大を受け、福島県全域に「まん延防止等重点措置」が拡大されました。重点措置期間は2月20日までです。

◆ そのため、雪まつりも残念ながら中止せざるを得ませんでした。関係者の皆様や開催を待ち望んでおられた方々には大変ご迷惑とご心配をおかけいたしました。お詫び申し上げます。

◆ またしばらく我慢の日々が続きますが、ご理解をお願いいたします。

◆ 只見高校が第94回選抜高校野球大会の21世紀枠に選出されました。まさに快挙です。本当におめでとうございます。日々、頑張っている選手をはじめ、監督や学校関係者の皆様、そしてご家族の皆様、同窓生等の皆様の喜びもまさに格別のことと思います。町民の皆様とともに心からお祝い申し上げます。

◆ 特に長谷川監督の長年にわたる献身的なご指導に心から敬意と感謝を申し上げます。たいと思います。

◆ 3月18日から、甲子園で大会が始まります。当日までに準備を整え、只見高校の普段通りの笑顔の全力プレーを見られることを楽しみにしています。

◆ 「特別のことにするために特別のことにするのではない、特別のことにするために普段通りの当たり前のことをする」これはイチローの言葉です。
フレーフレー 只見!! がんばれ がんばれ 只見!!

町長スケジュール (1月分)

- 4日 仕事始め式(役場町下庁舎、あさひヶ丘、広域消防只見出張所、南会津地方環境衛生組合)
- 5日 只見町新年交歓会
- 6日 県関係機関及び新聞社等年賀挨拶(～7日福島市)
- 8日 只見町消防団出初め式
- 11日 一級河川只見川河川整備促進期成同盟会令和3年度福島県要望(福島市)
- 12日 南会津地方広域市町村圏組合議会全員協議会(南会津町)、只見町社会福祉協議会ほほえみ協定締結式
- 13日 会津電力(株)代表取締役他新年あいさつ来庁、スミタ光学ガラス工場長他、スミタフォトニクス工場長新年あいさつ来庁、本名誠氏叙勲(瑞宝単光章)伝達式
- 14日 東北電力(株)本社役員他新年あいさつ来庁、福島県生活環境部政策監、只見線再開準備室長他来庁、定例庁議(コロナウイルス対策本部会議「以下本部会議」)

- 17日 高知県本山町視察(高知県)
- 18日 モンベル本社辰野会長表敬訪問(大阪府)
- 20日 只見町議会1月会議、明治安田生命保険相互会社 健康に関する連携協定締結式、只見特産(株)取締役会
- 22日 ドキュメンタリー映画「霧幻鉄道」完成披露特別試写会(会津若松市)
- 24日 雪まつり実行委員会、臨時庁議(本部会議)
- 25日 只見ユネスコエコパーク支援委員会、只見町商工会役員との懇談会、臨時庁議(本部会議)、只見町地域公共交通会議、新潟大学名誉教授崎尾氏来庁
- 26日 (同)ねっか代表社員来庁、南会津地方環境衛生組合予算査定(下郷町)
- 27日 奥会津振興センター「奥会津可能性拡大事業に係る事業説明」来庁
- 28日 臨時庁議(本部会議)、只見町農業再生協議会総会
- 31日 臨時庁議(本部会議)



町民の消息

(12月26日～1月25日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

永井 巴琉 (男/晃嗣・知子) 大 倉

■おくやみ申し上げます

菅 家 かおり	57歳	黒 谷
山 崎 啓 伍	88歳	榎 戸
五十嵐 靖	59歳	蒲 生
目 黒 イワコ	95歳	長 浜
山 内 クニエ	99歳	二軒在家
目 黒 多 一	97歳	只 見
吉 津 直 人	83歳	黒 谷
新 國 ミヨ子	93歳	只 見

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和4年1月1日現在

人 口	3,902 (-28)
男	1,919 (-11)
女	1,983 (-17)
世帯数	1,597 (-11)

※高齢化率は県推計人口調査月報で未掲載のため、掲載していません。ご了承ください。

転入 1 転出 15 出生 0 死亡 14

▽今月号から只見中学生のSD Gsコラムの連載が始まりました。ぜひご一読ください。

▽小中学生が環境問題に取り組み姿には、「自分は、どこか人ごとのように思っていないだろうか」と考えさせられます。節電や節水など出来ることから取り組みたいと思います。

▽手洗い・うがいは、誰でも簡単にできる感染症対策です。やり方を確認して正しい方法で行いましょう。

(小林)

あとがき

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

明和振興センター 図書紹介

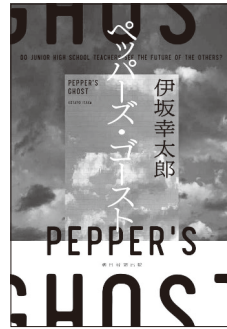
明和振興センター図書室
☎86-2111
山内 希実子

おすすめ新着図書

★ペッパーズ・ゴースト

伊坂 幸太郎 / 著

(朝日新聞出版)



中学校の国語教師・檀千郷(だんちさと)は、受け持ちの女子生徒から自作の小説原稿を渡される。その小説の中では、猫を愛する奇妙な二人組・ネコジゴハンターが大暴れしていた。そして檀先生は、ある条件

下で他人の明日の体験が少しだけ観えるという、不思議な力を持っていた。ネコジゴハンターとは何か。父の言葉、悲観と楽観、猫と野球……、檀先生が「サークル」に関わるにつれ、物語は加速していく。小説を読む楽しさ、面白さに満ちながら、うつむく人を明るく方へとそっと連れ出す、一大エンターテインメント長編!

★ノラネコぐんだんラーメン屋さん

工藤 ノリコ (白泉社)



ノラネコたちがラーメン屋さんをのぞいています。

「ニャー、ラーメンのつくりかた おぼえたぞ」

……いつものようにお店に忍び込み、せっせと

ラーメンを作っていたらお客さんたちがやってきてしまい!?

累計200万部突破の大ヒットシリーズ第9弾!

☆明和振興センターではリクエストも随時受付していますので、ぜひご利用ください。



雪上の昆虫

(写真・文 緒勝祐太郎)

クモガタガガンボ

(学名：Chionea sp.)

【ハエ目ガガンボ科】



▲ 雪上を歩いて移動するクモガタガガンボの一種

ひとしきり降り続いた雪がやみ、静寂に包まれたブナ林。雪上に残された動物たちの足跡が、生きものの気配をかすかに漂わせます。よく目を凝らすと、一時の休息を待ちわびていたかのように、せわしなく動きまわる小さな昆虫たちが目に留まります。

冬にだけ成虫として現れるクモガタガガンボは体長5mmほど、名前の通りクモに似た長い脚をもつガガンボで、ハエの仲間です。大部分の昆虫は翅を4枚（2対）持ち合わせていますが、ハエは飛ぶための翅（前翅）を2枚（1対）しか持っておらず、退化した後翅の跡には、こん棒状に変化したもの（平均棍）がついています。これがハエの基本的な体のつくりです。一方、クモガタガガンボは前翅も退化しており、翅がまったくありません。成虫が冬季に雪上や地表面で生活することから、このような形に進化したのかもしれませんが。

こうした冬に活動する昆虫にはユスリカやクロカワゲラの仲間も含まれ、これらはユキムシと総称されます。厳冬期、氷点下や吹雪になると、クモガタガガンボは雪と地面の間などに身を潜め、他のユキムシは木の幹や枝葉でじっとしており、穏やかな天候を見計らって活動を始めます。雪に支配されながらも、小さな昆虫たちもまた豪雪を生き抜くための術を身につけていると言えます。